

平成28年度事業報告書

公益財団法人栃木県保健衛生事業団

目次

1	平成28年度事業報告	—————	2
---	------------	-------	---

平成28年度事業報告

当事業団は、栃木県の公衆衛生の向上に寄与することを目的として、県民の疾病予防や健康の保持増進を図るための健診・検査や生活環境保全のための各種検査等を実施するとともに、これら予防医学分野に関する知識の普及啓発活動等を積極的に推進しているところです。

平成28年度は、栃木県のがん対策推進計画や健康長寿とちぎづくり推進条例及び国が策定したがん対策加速化プランにおいて重要視されている精密検査受診率の向上などを踏まえ、県の施策と連携しながら、県民の健康に関する意識の向上や健診受診率の向上など事業の一層の充実に取り組んでまいりました。

普及啓発事業では、テレビ、ラジオ、新聞や駅構内の広告などを利用した検診の普及啓発を継続して行ったほか、「がん啓発セミナー」を真岡市と共催して行うなど各種イベント等を積極的に実施したことや5年目となる「リレー・フォー・ライフ・ジャパン2016とちぎ」にも参画し、県民のがん予防や生活習慣病予防等への関心を高め、健康に関する意識向上に寄与する事業を推進いたしました。

さらに、がん検診事業の適正な評価へと繋げるため、栃木県立がんセンターと協力して運営している「栃木県がん集検協議会」において、市町及び県内のがん検診実施機関で構成される「精度管理部会」の事務局として参画し、がん検診の質の向上やがん発見率の向上に努めました。

健診・検査事業では、住民健診において、受診案内の提案・作成等と併せて事業団が独自に開発した「インターネット健診予約サイト」を活用したことなどにより特定健康診査の受診者が前年度の実績を上回りました。

また、事業所健診においては、大手事業所の健診の新規受託や労働安全衛生法の改正によるストレスチェックの義務化に伴う事業計画以上のストレスチェック検査の受託に対応することなどにより増収となりました。

施設健診では、人間ドック事業で協会けんぽの受診者等が増加したことで胃内視鏡検査等のオプション検査も増えたことや東電福島第一原発緊急作業従事者に対する疫学的研究事業に関する健康診査も昨年度から引き続き行ったほか、健康づくりセンター支援事業や健康相談事業を継続して実施しました。

食品環境検査事業においては、食品自主衛生管理認証制度（HACCP）の「食の安全」に貢献する事業を行政や関係機関等との連携を密にしながら推進しました。

機器等の整備では、特に、検診車等のX線装置のデジタル化を平成17年度から進め、デジタル画像の処理のためなどのソフトウェアも計画的に整備し、平成28年度の胸部及び胃検診車の更新をもって、全てのX線装置が12年間を経てデジタル化となりました。

今後も、県民や受診団体等のニーズに的確に応えながら、信頼される精度の高い健診・検査事業を推進するとともに、健診・検査データに基づく調査・研究を継続し、県民に向けて健康に関する情報を広く発信するなど、公益財団法人としての役割を果たすため県民の健康保持増進に貢献してまいります。

第1 普及啓発事業

広く県民の疾病予防や健康の保持・増進及び生活環境に対する関心を高め、予防医学について正しい知識の普及により適切な疾病予防行動や健診・検査の受診に繋げ、県民の健康づくりを推進するために普及啓発事業を実施し、「健康長寿日本一とちぎ」の実現に向けた取り組みを行いました。

1 予防医学推進のための普及活動

結核・がん・生活習慣病等予防のために各種メディアの活用やイベントの開催・参加などによる普及啓発活動を県・市町・医師会及び各種関係団体等との連携に努めながら積極的に展開しました。

また、平成27年12月から義務化された「ストレスチェック制度」の普及に努め、働く人のメンタルヘルズ対策への関心を高める活動を実施しました。

(1) 結核予防活動

県民の結核に関する意識の高揚と正しい知識の普及を図るため、次の活動を行いました。

ア 結核予防週間運動の実施（9月24日から30日）

(ア) 県や市町及び学校等に結核予防のポスターやパンフレットを配付し、結核予防に関する普及啓発を行いました。

- ・ポスター 850部
- ・パンフレット 9,800部

(イ) 結核予防に関するテレビ及びラジオコマーシャルの放送や新聞への告知掲載など、県内のマスメディアを活用した普及啓発を行いました。

- ・テレビ 45秒告知 1種 15回
- ・ラジオ(FM) 60秒告知 2種 16回
- ・新聞 1面突出しフルカラー 1種 1回

イ 複十字シール運動の実施

(ア) 結核など胸部に関する疾患予防の普及啓発活動として行っている「全国一斉複十字シール運動」を開始するにあたり、8月5日に栃木県結核予防婦人連絡協議会(栃木県地域婦人連絡協議会)と合同で栃木県知事を表敬訪問し、結核の現状報告及び複十字シール運動への協力を依頼しました。

(イ) 「複十字シール運動」の意義を広く県民に伝え、結核予防思想のより一層の普及を図ることを目的とした街頭キャンペーンを、栃木県結核予防婦人連絡協議会(栃木県地域婦人連絡協議会)との共催で、9月17日に宇都宮市のショッピングモール「ベルモール」2階 スカイブリッジ広場で実施しました。

- ・結核予防に関するパネルの展示
- ・普及啓発セット(リーフレット、複十字シール(小型)、ボールペン) 1,000セット配布

(ウ) 結核予防活動の一環として、公益財団法人結核予防会が全国的に行う「複十字シール募金運動」に協力し、9月から12月まで募金活動を実施しました。

この募金は、全額を公益財団法人結核予防会に納付し、結核予防の広報や教育資料の作成・調査研究に役立てられます。

- ・平成28年度募金額 1,400,056円

(2) がん征圧活動

県民のがん予防に関する意識の高揚と知識の普及を図るため、次の活動を行いました。

ア 栃木県がん征圧月間運動の実施（9月1日から30日）

(ア) 栃木県及び一般社団法人栃木県医師会との共催により「栃木県がん征圧月間運動」を実施し、県や市町等のがん検診に関するポスターやリーフレット等を配付して、がん予防に関する普及啓発を行いました。

- ・ポスター2種(がん征圧、禁煙) 各550部
- ・リーフレット2種(がんに負けない社会をつくる、乳がんのセルフチェック) 各5,500部
- ・冊子(がん予防読本) 2,000部

(イ) がん検診に関するテレビ及びラジオコマーシャルの放送や新聞への告知掲載など、県内のマスメディア等を活用してがん征圧運動を周知しました。

・テレビ	45 秒告知	1 種	15 回
・ラジオ(FM)	60 秒告知	2 種	16 回
・新聞	1 面突出しフルカラー	1 種	1 回
	3 段 1/2 モノクロ	1 種	1 回
	折込紙見開き 1/2 フルカラー	1 種	1 回
	紙面告知欄 モノクロ	2 種	2 回
・立て看板 (とちぎ健康の森エントランスに設置)		1 カ所	

(ウ) 県や市町で行うイベントに出展し、がん検診に関する知識を普及するための啓発パネルの展示や、がん検診受診を促すリーフレット及びグッズを配布するなどのキャンペーンを実施しました。

- ・真岡市健康フェスティバル (10 月 23 日 : 真岡市総合福祉保健センター)
- ・那須烏山市健康福祉まつり (11 月 6 日 : 那須烏山市保健福祉センター)

イ がん征圧募金運動の実施

がん征圧活動の一環として「がん征圧募金運動」を 9 月から 12 月まで実施し、県民のがん予防に関する意識の高揚と知識の普及を行いました。

- ・平成 28 年度募金額 2,159,368 円

ウ がん検診啓発セミナーの開催

がん検診の普及啓発を目的として、県内を巡回して行う「がん検診啓発セミナー」を真岡市と共催で開催しました。(10 月 26 日 : 真岡市民会館)

講演会では広い世代から多くの参加を得るとともに、パネルや乳がん触診モデル等の展示及びリーフレット等の配布を行い、がん検診の受診啓発及び普及を行いました。

- ・参加者 : 約 550 名
- ・基調講演 : 渡邊 美香 保健師 (当事業団)、石崎 浩子 保健師 (真岡市)、阿部 聡子 医師 (当事業団)
- ・特別講演 : アグネス・チャン氏 (歌手・エッセイスト・教育学博士)

エ がん予防に関する意識を高めるイベントへの参加

公益財団法人日本対がん協会とがん患者及びその家族と支援者やボランティアなどによる地元実行委員会が主催するがん患者支援チャリティイベント「リレー・フォー・ライフ・ジャパン 2016 とちぎ」(9 月 24 日から 25 日 : 壬生町総合公園陸上競技場) に事務局として参画しました。

また、会場ではがん予防に関するパネルの展示を行ったほか、リレーウォークにも参加しました。

オ その他の主ながん検診受診率向上への取り組み

(ア) 厚生労働省、都道府県等が主催する各種普及週間・月間に呼応し、がん検診に関するテレビ及びラジオコマーシャルの放送や新聞への告知掲載等を行い、がん検診受診率向上のための啓発活動を行いました。

・テレビ	45 秒告知	7 種	105 回
・ラジオ(FM)	60 秒告知	2 種	16 回
・新聞	1 面突出しフルカラー	1 種	1 回
	3 段 1/2 モノクロ	1 種	1 回
	栃木版突出しモノクロ	1 種	2 回

(イ) 当事業団の職員が、それぞれ従事する業務の立場からがん検診受診の大切さを訴えるラジオ告知を収録・放送しました。

- ・ラジオ(FM) 20 秒告知 6 種 126 回

(ウ) JR宇都宮駅改札前通路の看板を利用して、がん検診の普及啓発を年間通して行いました。

(3) 生活習慣病等予防や生活環境に関する普及活動

ア 県民の生活習慣病等予防や疾病の早期発見及び生活環境に関する意識の高揚と知識の普及を図るため、次の活動を行いました。

禁煙週間（5月31日から6月6日）、健康増進普及月間（9月1日から30日）、糖尿病予防・重症化防止強化月間（11月1日から30日）に併せ、それらの予防に関する普及啓発ポスターやパンフレット及びリーフレットの配布等を行い、各種週間・月間に関する意識の高揚と正しい知識の普及を行いました。

・禁煙週間

禁煙ポスターを県内関係158機関に配布し、とちぎ健康の森内4カ所に掲示
禁煙関連のパネルや肺がんモデル、タールモデル等を人間ドックフロアに展示

・健康増進普及月間

ポスター5種をとちぎ健康の森内4カ所と栃木県保健環境センターに掲示（全5カ所に掲示）

・糖尿病予防・重症化防止強化月間

糖尿病予防啓発のリーフレットをとちぎ健康の森エントランスと人間ドックフロアに設置し、約100部配布

イ マスメディアを活用した普及活動

(ア) 生活習慣病予防等に関するテレビ及びラジオコマーシャルの放送や新聞への告知掲載など、県内のマスメディアを活用して健診・検査等の意義や目的を周知し、受診率向上を図りました。

・テレビ	45秒告知	4種	45回
・新聞	1面突出しフルカラー	4種	4回
	全5段フルカラー	2種	2回
	3段1/2モノクロ	1種	1回

(イ) 当事業団の職員が、それぞれ従事する業務の立場から生活習慣病予防やストレスチェックの重要性を訴えるラジオ告知を収録・放送しました。

・ラジオ(FM) 20秒告知	5種	104回
----------------	----	------

(ウ) 生活環境に関する正しい知識の普及のために、マスメディアを活用して簡易専用水道検査等の受検勧奨を行い、県内の公衆衛生の向上を図りました。

・ラジオ(FM) 20秒告知	1種	21回
----------------	----	-----

(エ) 食品衛生月間（8月1日から31日）に併せ、手洗いの励行や食品の温度管理等に関するテレビ及びラジオコマーシャルの放送や新聞の告知掲載などを行い、意識の向上と知識の普及を図りました。

・テレビ	45秒告知	1種	10回
・ラジオ(FM) 20秒告知		1種	31回
・新聞	1面突出しフルカラー	1種	1回

ウ 関係機関等との連携・協力による普及活動

(ア) 県や市町等で実施される健康関連イベントに協力し、医師・保健師等による生活習慣病予防等の健康に関する講座の開催や健康相談の実施、パネル展示やリーフレットの配布を行い、健診・検査の重要性について普及啓発を行いました。

・働くクルマ大集合（株）モビリティランド ツインリンクもてぎ：ツインリンクもてぎ / 5月4日

マンモグラフィ検診車の展示と放射線技師による説明

がんに関するパネルの展示とリーフレットの配布

・ねんりんピックとちぎ2016（栃木県：とちぎ健康の森 / 5月18日から22日）

生活習慣病及びがん予防等に関するリーフレットと普及啓発グッズの提供

・栃木県保健環境センター公開デー（栃木県：保健環境センター / 7月9日）

食中毒予防（調理器具やノロウイルス）に関するパネルの展示

普及啓発グッズの配布

- ・とちぎ健康フェスタ 2016（栃木県：とちぎ健康の森 / 10月29日）

禁煙、肺がん、乳がんに関するパネルの展示

肺モデル、タールモデル、乳がん自己触診モデルの展示

普及啓発グッズの配布

- ・市町の実施する健康に関するイベントへの普及啓発グッズの提供（9市町）

- (イ) 公益財団法人結核予防会、公益財団法人日本対がん協会、公益財団法人予防医学事業中央会が発行する機関紙等を県、市町、受診団体等へ配布しました。
- (ウ) 女性を対象とした「家庭からの生活習慣病等予防」を推進するために、栃木県地域婦人連絡協議会と連携して、普及啓発活動を行いました。
- (エ) 県民が実施するイベント等において広く活用してもらうため、普及啓発用広報・視聴覚資料の無料貸し出しを実施しました。

2 健診・検査受診率向上のための普及活動

疾病の早期発見・早期治療のためには健診・検査等を受診することが非常に重要であるため、健診・検査等の機会を提供するだけではなく、ホームページや定期情報誌を通じて県民を対象に健診・検査等の意義や効果を啓発する事業を実施し、健診・検査受診率の向上を図りました。

(1) ホームページの公開

当事業団が行う調査・研究事業から得られる成果などを活用し、健康を保持・増進する上での健診・検査等の重要性について普及啓発を図るとともに、事業内容等の広報、健康に関する情報提供のほか、利用者が必要とする最新の情報を配信しました。

また、当事業団の健診・検査データをとりまとめ公表している事業年報をホームページでも公開し、閲覧できるようにしました。

(2) 定期情報誌の発行

健康や環境に関する最新情報や保健事業への取り組み及び活動状況のほか、最新の健康情報や運動、栄養などの健康づくりに関するアドバイスを掲載した定期情報誌「げんきとちぎ」を年2回、各1,500部発行し、県、市町、受診団体、医療機関、大学や全国の関係団体などに配付するほか、とちぎ健康づくりセンターのロビーにも設置し、ホームページでも公開しました。この定期情報誌「げんきとちぎ」では、健診・検査の重要性について普及啓発を行うとともに、当事業団が行う健診・検査等事業の具体的な内容の広報を行いました。

第2 県民の健康づくりのための健診・検査等事業及び調査・研究事業

県民の疾病の予防、生活環境の保全、健康の保持増進を図るため、各種の健診・検査事業を実施しました。

平成28年度は、地域保健において、受診勧奨や追加日程により特定健康診査が前年度の実績を上回ったほか、乳がん検診でマスメディア（テレビ、新聞等）の影響等により受診者数が増加しました。

職域保健においては、平成27年12月1日に施行された労働安全衛生法の改正によるストレスチェックの義務化に伴い、メンタルヘルス支援事業のストレスチェック検査で新規団体を獲得したことにより受託件数が大幅に増加いたしました。

また、人間ドック事業では、協会けんぽ等の受診者が増加したことで、胃内視鏡検査等のオプション検査も増加いたしました。

1 健診・検査事業の推進（部門別事業件数）

（1）集団健診部門

ア 地域住民の健康を守る健診・検査事業（地域保健）

(ア) 胃がん検診では、胃X線検診のリスクを受診者が理解し、安全に検診を受診することを目的に日本消化器がん検診学会関東甲信越地方会「胃X線検診安全基準」に該当する方に「胃X線（バリウム）検診中止同意書」を作成し受診を取りやめるように働きかけしたことにより受診数が減少しました。

(イ) 介護予防対象者把握事業は下野市及び塩谷町を受託していましたが、介護予防・日常生活支援総合事業の実施方法変更に伴い、市町が自ら実施することとなりました。

(ウ) 子宮頸がん検診は、小山地区 HPV-DNA 併用検診5年目による検査対象者の減、芳賀町で HPV 併用検診2年目による検査対象者の減により受診者が減少しました。

(エ) 乳がん検診は、昨年からのマスメディア（テレビ、新聞等）の影響等による各市町の申込数の増により受診者が増加しました。

(オ) 甲状腺検査は、日光市で受診数は前年比130名減少しましたが、新たに塩谷町において住民の要望等により開始され2日間で302名実施しました。

事業区分			平成28年度				平成27年度			
			受診 団体数	実 件 数	要精 検 者 数	%	受診 団体数	実 件 数	要精 検 者 数	%
胸部 検診	結核検診		4	1,101	113	10.3	3	1,184	41	3.5
	肺がん 検診	X線検査	17	74,692	2,394	3.2	16	74,962	2,105	2.8
		喀痰細胞診		1,478	7	0.5		1,630	1	0.1
胃 検診	X線検査		18	49,675	4,469	9.0	17	52,063	4,911	9.4
	ハイリスク検診		9	6,181	1,833	29.7	9	6,928	2,381	34.4
特定 健康 診査	国保		17	47,593	21,944	46.1	16	47,870	22,904	47.8
	国保 以外	社保		8,102	3,151	38.9		8,056	3,345	41.5
		後期高齢者		12,893	6,135	47.6		11,739	5,726	48.8
		健康診査等		6,772	1,507	22.3		6,704	1,613	24.1
	小計		17	75,360	32,737	43.4	16	74,369	33,588	45.2
介護予防対象者把握事業※1		0	0	-	-	2	10,321	2,349	22.8	
子宮 がん 検診	集団検診方式		18	31,324	675	2.2	18	34,510	597	1.7
	医療機関方式 (日母)	頸がん	8	9,003	296	3.3	8	9,595	313	3.3
		体がん	7	3,297	24	0.7	7	3,450	14	0.4

事業区分		平成 28 年度				平成 27 年度			
		受診 団体数	実 件 数	要精 検 者 数	%	受診 団体数	実 施 件 数	要精 検 者 数	%
乳 が ん 検 診	マンモグラフィ+超音波	18	42,495	1,932	4.5	18	41,439	2,513	6.1
	マンモグラフィ+視触診		1,096	72	6.6		1,216	84	6.9
	マンモグラフィ		1	0	0.0		1	0	0.0
	視触診		117	9	7.7		117	0	0.0
	超音波		6,599	268	4.1		5,858	259	4.4
	計		18	50,308	2,281		4.5	18	48,631
大腸がん検診		17	75,611	4,065	5.4	17	76,773	4,316	5.6
骨密度検診		16	13,138	1,932	14.7	16	14,441	2,102	14.6
前立腺がん検診		16	25,993	1,933	7.4	15	25,898	2,059	8.0
甲状腺超音波検査※2		2	1,159	11	0.9	1	983	12	1.22

※1 介護予防対象者把握事業の「要精検者数」は「二次予防事業の対象者数」を計上

※2 東日本大震災後の住民の健康管理を目的として平成 25 年度から日光市、平成 28 年度から塩谷町で実施している事業

イ 働く人の健康を守る健診・検査事業（職域保健）

- (ア) 結核検診では、介護老人保健施設への県費補助事業が廃止されたことによる減少のほか、入札により実施件数が減少しました。
- (イ) ブリヂストン栃木工場の大手事業所新規獲得により一般健康診断、特殊健康診断受診者数が増加しました。
- (ウ) メンタルヘルス支援事業におけるストレスチェックは、平成27年12月に法制化されたことに伴い、新規申し込みが増加しました。
また、受診団体の安全衛生委員会で結果説明、各種研修会を実施し、職場環境の改善に向けたサービスの充実に努めました。
- (エ) 腸内細菌検査では競合による単価の低下傾向にありますが、入札等により受託件数が増加しました。

事業区分			平成28年度				平成27年度				
			受診団体数	実施件数	要精検者数	%	受診団体数	実施件数	要精検者数	%	
胸部 検診	結核検診		90	16,028	212	1.3	111	18,145	313	1.7	
	肺がん 検診	X線検査	139	6,108	111	1.8	131	5,978	99	1.7	
		喀痰細胞診		1,021	0	0.0		1,163	0	0.0	
胃検診			1,179	15,548	1,130	7.3	1,131	16,250	1,248	7.7	
健康 診断	一般健康診断※1		1,860	67,680	18,095	26.7	1,827	66,760	17,550	26.3	
	特殊 健康 項目 診断	法定 項目	じん肺	66	924	—	—	60	579	—	—
			石棉	13	138	—	—	9	17	—	—
			有機溶剤	103	3,561	—	—	100	3,542	—	—
			電離放射線	23	1,352	—	—	25	1,277	—	—
			鉛	15	627	—	—	18	628	—	—
			特定化学物質	80	2,893	—	—	78	2,642	—	—
	行政 指導 ※2	行政 指導	有害光線	20	844	—	—	25	767	—	—
			騒音	35	1,003	—	—	53	1,332	—	—
			V D T	29	1,062	—	—	25	999	—	—
			その他	28	412	—	—	24	409	—	—
	メンタル ヘルス 支援	メンタル ヘルス 支援	ストレスチェック	117	38,924	—	—	13	6,813	—	—
			教育研修	5	344	—	—	4	468	—	—
			カウンセリング	7	270	—	—	7	313	—	—
子宮がん検診（集団検診方式）			352	3,094	79	2.6	299	2,913	61	2.1	
乳 が ん 検 診	マンモグラフィ+超音波		372	2,040	148	7.3	313	1,924	141	7.3	
	マンモグラフィ+視触診			329	21	6.4		297	17	5.7	
	視触診+超音波			183	13	7.1		165	8	4.8	
	マンモグラフィ			114	9	7.9		51	5	9.8	
	超音波			1,266	79	6.2		1,166	58	5.0	
	視触診			65	0	0.0		80	2	2.5	
	3法			55	6	10.9		47	4	8.5	
	計			372	4,052	276		6.8	313	3,730	235

事業区分			平成28年度				平成27年度				
			受診 団体数	実施 件数	要精検 者数	%	受診 団体数	実施 件数	要精検 者数	%	
大腸がん検診			1,386	22,038	981	4.5	1,283	21,221	995	4.7	
骨密度検診			14	322	47	14.2	14	307	26	8.5	
前立腺がん検診			245	3,047	148	4.9	225	2,792	140	5.0	
腸 内 細 菌 査	取食 扱	赤痢菌・サルモネラ菌	1,304	94,665	31	0.03	1,297	94,694	33	0.04	
		〇157	1,202	58,679	0	0.00	1,201	59,424	0	0.00	
		〇26	67	6,380	0	0.00	69	6,434	0	0.00	
	者品	〇111	67	6,380	0	0.00	69	6,434	0	0.00	
		従学 事校 者給 等食	赤痢菌・サルモネラ菌	429	45,907	3	0.01	405	40,170	6	0.02
			〇157	396	43,432	0	0.00	368	37,291	0	0.00
			〇26	2	208	0	0.00	2	215	0	0.00
	〇111		2	208	0	0.00	2	215	0	0.00	

※1 小規模事業所集合健診の受診団体及び受診者数（主に50人未満事業所）： 1,044 団体、5,991 名

※2 特殊健康診断の判定は各事業所の産業医が総合的に判断することから、受診団体数と受診者数のみの表記

ウ 子ども及び赤ちゃんの健康を守る健診・検査事業（学域・母子保健）

(ア) 学域・母子保健では、少子化の影響により全体的に児童生徒数は減少しております。

(イ) 小児生活習慣病予防健診は、那須町が貧血検査から移行し件数が増加しました。

(ウ) 寄生虫卵検査は、平成28年4月1日に学校保健安全法施行規則の法定項目から削除されたことにより、件数が減少しました。

事業区分			平成28年度				平成27年度			
			受診 団体数	実施 件数	要精検 者数	%	受診 団体数	実施 件数	要精検 者数	%
結核検診			102	16,880	33	0.20	101	16,806	23	0.14
心 臓 検 診	小学校	心電・心音方式	401	8,945	320	3.58	412	8,704	314	3.61
		1 2 誘導方式		5,084	104	2.05		5,672	137	2.42
	中学校	心電・心音方式	120	9,469	472	4.98	119	9,509	457	4.81
		1 2 誘導方式		143	5	3.50		163	4	2.45
	高等学校	1 2 誘導方式	100	19,735	779	3.95	100	19,529	815	4.17
骨密度検診			1	189	1	0.53	1	184	2	1.09
小児生活習慣病予防健診			230	15,404	300	1.95	223	14,830	287	1.94
生 化 学 査	生化学検査		10	2,586	24	0.93	10	3,729	36	0.97
	貧血検査		227	26,199	224	0.85	238	27,127	217	0.80
	血清検査		2	1,033	—	—	2	1,024	—	—

事業区分			平成28年度				平成27年度				
			受診 団体数	実施 件数	要精検 者数	%	受診 団体数	実施 件数	要精検 者数	%	
寄生虫・尿検査	寄生虫卵検査		165	20,820	1	0.004	527	79,625	9	0.01	
	腎臓検診	1次検査	439	128,640	3,652	2.84	443	129,547	3,732	2.88	
		2次検査		3,393	590	0.46		3,481	528	0.41	
	尿検査	A(蛋白+糖)	1次検査	61	9,251	50	0.54	64	9,064	55	0.61
			2次検査		18	0	0.00		15	0	0.00
		B(蛋白+糖+潜血)	1次検査	207	30,417	271	0.89	219	30,905	295	0.95
			2次検査		5	0	0.00		7	0	0.00
	先天性代謝異常検査	アミノ酸代謝異常症(*1)		—	16,002	0	0.000	—	16,479	2	0.012
有機酸代謝異常症(*2)		1	0.006			1	0.006				
脂肪酸代謝異常症(*3)		0	0.000			1	0.006				
ガラクトース血症		3	0.018			0	0.000				
先天性甲状腺機能低下症		10	0.062			10	0.060				
先天性副腎過形成症		10	0.062			7	0.042				
低出生体重児(*4)		247	0.000			237	0.006				

※先天性代謝異常等検査はタンデムマス法による検査で実施し、アミノ酸代謝異常症(*1)、有機酸代謝異常症(*2)、脂肪酸代謝異常症(*3)として下表の16項目の検査を全ての受検者に実施(*4)先天性代謝異常等検査の「低出生体重児」実施件数は、2次検査の実施件数を計上

区分	対象疾患数	対象疾患名
アミノ酸代謝異常症(*1)	5	① フェニルケトン尿症 ② ホモシスチン尿症 ③ メーブルシロップ尿症 ④ シトルリン血症I型 ⑤ アルギニノコハク酸尿症
有機酸代謝異常症(*2)	7	① プロピオン酸血症 ② メチルマロン酸血症 ③ イソ吉草酸血症 ④ メチルクロトニルグリシン尿症 ⑤ HMG血症 ⑥ マルチプルカルボキシラーゼ欠損症 ⑦ グルタル酸血症I型
脂肪酸代謝異常症(*3)	4	① CPT-1欠損症 ② MCAD欠損症 ③ VLCAD欠損症 ④ TFP/LCHAD欠損症

(2) 施設健診部門

ア 人間ドック

(ア) 基本コースの実施人数は、教職員・県職員・市町村職員等において受診者が減少したものの協会けんぽや一般事業所の保険組合加入者が増加したことにより、前年度に比べて143名増の11,791名であり、受診団体数は前年度と同数の151団体となっております。

なお、開設日数は前年度より2日少ない233日間であったものの1日あたりの実施件数は昨年度より1.0名増の50.6名でした。

(イ) オプション検査においては、受診枠の拡大により胃内視鏡検査が前年度に比べて369名増加したほか、女性特有の乳腺超音波検査、マンモグラフィ、子宮頸がん検査も関心が高く実施件数が増加しました。

事業区分		平成28年度			平成27年度		
		実施件数	要精検者数	%	実施件数	要精検者数	%
基本コース		11,791	4,237	35.9	11,648	4,282	36.8
婦人ドックコース		34	4	11.8	44	4	9.1
肺ドックコース		3	0	0.0	2	0	0.0
オプション検査	乳腺超音波検査	3,589	156	4.3	3,456	126	3.6
	マンモグラフィ	2,438	84	3.4	2,241	90	4.0
	子宮頸がん検査	3,056	80	2.6	2,960	69	2.3
	子宮体がん検査	191	2	1.0	237	1	0.4
	骨粗鬆症検査	547	77	14.1	549	70	12.8
	P S A 検査 (前立腺がん検査)	1,936	60	3.1	1,898	76	4.0
	胸部CT検査	921	29	3.1	815	13	1.6
	胃内視鏡検査	2,547	90	3.5	2,178	117	5.4
	血管年齢測定	509	—	—	533	—	—
	内臓脂肪測定	354	—	—	375	—	—
	H P V (ヒトパピローマウイルス)	0	—	—	3	—	—
	甲状腺超音波検査	548	18	3.3	601	19	3.2
	甲状腺機能検査	263	5	1.9	218	9	4.1
	視野検査	219	23	10.5	195	15	7.7
	頸動脈超音波検査	550	7	1.3	509	8	1.6
	ペプシノゲン検査	785	—	—	845	—	—
血中ピロリ抗体検査	1,279	—	—	1,461	—	—	
H O M A - R (インスリン抵抗性検査)	200	—	—	173	—	—	

イ 健康づくりセンター支援事業

栃木県、社会福祉法人とちぎ健康福祉協会及び当事業団の3者による「とちぎ健康づくりセンター事業」の一層の推進のための取り組みの実施に関する協定書（平成26年4月1日～平成31年3月31日）に基づき、次の事業を実施しました。

(ア) とちぎ健康づくりセンター事業における医学的助言

健康づくりセンターへ医師を派遣し、利用者に対しての医学的助言を63名に実施し、スタッフへの助言や指導を4回実施しました。主な内容は、治療状況の確認、運動制限の確認、施設利用時の注意点等でした。

(イ) 健康づくり相談や講座への医師派遣等の協力

健康づくり講座へ講師として医師を1回派遣しました。また講座の参加者に対し、内臓脂肪検査、骨密度測定を実施し、それぞれの実施人数は18名、2名でした。

(ウ) とちぎ健康づくりセンターの利用促進

とちぎ健康づくりセンターの利用促進のために、人間ドックの待合コーナーなどにパンフレットを設置しました。

また、体力測定や健康チェックの受検者に対し、運動効果をみるための医学的検査を割引きで利用できるスタンプカードを発行し、54名がスタンプカードを利用して検査を受検したほか、当事業団で行う施設内特定保健指導実施者に対しては、とちぎ健康づくりセンター施設利用券を配布し、利用枚数は45枚でした。

(エ) とちぎ健康づくりセンターにおける県民の日イベント等での検査の提供

6月11日（土）に開催された県民の日協賛イベント「健康まつり」に参加し、骨密度測定を110名に実施しました。

(3) 特定保健指導部門

ア 特定保健指導及び事後指導等の実施

(ア) 特定保健指導は、動機付け支援 19 団体（7 市町、12 健保）1,130 名、積極的支援 21 団体（7 市町、14 健保）480 名に実施しました。

(イ) 健診事後指導は市町等からの委託を受け、7 団体に対し 226 日実施しました。また、健康教室等は 12 団体から依頼を受け 19 日実施しました。

事業区分			平成 28 年度		平成 27 年度		
			実施団体数	実施件数	実施団体数	実施件数	
特定保健指導	国保	出張型	動機付け支援	5	694	6	737
			積極的支援	5	221	6	233
		施設型	動機付け支援	1	43	2	46
			積極的支援	1	4	1	9
	国保以外	出張型	動機付け支援	2	17	2	22
			積極的支援	3	32	3	48
		施設型	動機付け支援	11	376	12	328
			積極的支援	12	223	12	192
	合計	動機付け支援		19	1,130	22	1,133
		積極的支援		21	480	22	482
総実施件数			1,610		1,615		

※出張型：団体から指定された会場に出張し保健指導を実施

施設型：当事業団施設内で保健指導を実施

事業区分			平成 28 年度		平成 27 年度	
			実施団体数	実施日数	実施団体数	実施日数
事後指導等	健診事後指導		7	226	6	208
	骨密度事後指導		1	42	2	48
	健康教室等	市町村	1	1	2	2
		事業所	10	17	6	9
		学校	1	1	2	2
	合計		20	287	18	269

イ 地域職域診断サービスの実施

「地域職域診断サービス」は、公益財団法人予防医学事業中央会と提携して依頼団体の健康診断データを全国レベルや都道府県レベルと比較して健康リスク要因を明らかにし、健康課題を提案するシステムです。

平成 28 年度は 26 団体のデータを集計し、各団体に対し分析結果を提供しました。

地域・職域診断サービス	平成 28 年度	平成 27 年度
	26	26

ウ 健康相談センター事業

県民からの様々な相談に対し、医師、保健師、管理栄養士、健康運動指導士等の専門スタッフが幅広く対応しました。

平成 28 年度は 246 件の相談があり、検査所見に関することや医療機関紹介に関する相談が多く、人間ドックではそれぞれ 38.7%、15.5%、集団健診等では 24.2%、39.6%ありました。

区 分	平成 28 年度				平成 27 年度			
	人間ドック		集団健診等		人間ドック		集団健診等	
	件数	%	件数	%	件数	%	件数	%
検 査 所 見	60	38.7	22	24.2	64	39.3	23	35.4
医 療 機 関 紹 介	24	15.5	36	39.6	33	20.2	15	23.1
検 査 内 容	16	10.3	6	6.6	12	7.4	4	6.2
生 活 習 慣	7	4.5	4	4.4	9	5.5	2	3.1
そ の 他	48	31.0	23	25.2	45	27.6	21	32.3
小 計	155	100	91	100	163	100	65	100
総 計	246				228			

エ 東電福島第一原発緊急作業従事者に対する疫学的研究への協力

福島第一原発において緊急作業に従事した作業員に対し、長期にわたる健康影響を明らかにする目的で平成 26 年度から公益財団法人放射線影響研究所が疫学的研究を開始しました。(厚生労働省補助事業)。

当事業団では、県内対象者のうち 52 名に健康診査を実施しました。

(4) 食品環境検査部門

ア 食品検査

細菌検査は 10,885 件、理化学検査は 1,411 件実施しました。

イ ノロウイルス検査

大田原市教育委員会やさくら市教育委員会の給食従事者のノロウイルス検査を新規受託したことやノロウイルス食中毒が流行したため、前年度比 524 件増の 974 件実施しました。

ウ 放射能検査

宇都宮市保育課の給食の放射能検査を受託しましたが、日光市の飲料水が他機関に移行したため、前年度比 853 件減の 592 件実施しました。

事業区分		平成 28 年度			平成 27 年度		
		実施件数	不適件数	%	実施件数	不適件数	%
食品検査※	細菌検査	10,885	124	1.14	11,146	223	2.00
	理化学検査	1,411	3	0.21	1,320	7	0.53
	農薬検査	5,036	0	0.00	4,932	0	0.00
	ノロウイルス検査	974	109	11.19	450	51	11.33
放射能検査	食品・環境試料等	478	0	0.00	374	0	0.00
	飲料水	114	0	0.00	1,071	0	0.00

※ 食品検査は、検査項目数を実施件数としています。

エ 食品自主衛生管理認証制度（とちぎ HACCP）

認証業務を行う認証機関として、11 回の審査会を開催し、5 件の新規認証と 18 件の認証更新を行いました。[HACCP（ハサップ）：食品自主衛生管理認証制度]

区分	平成 28 年度	平成 27 年度
新規	5	3
更新	18	12
計	23	15

オ 簡易専用水道検査等

(ア) 簡易専用水道検査は、競合や自治体の検査の競争入札等の影響により一部市町の小中学校や公営住宅の検査が他機関に移行したことからやや減少し、現場検査を 1,355 件、書類検査を 144 件実施しました。

(イ) 一般水質検査は、主に温泉水や浴槽水のレジオネラ属菌検査や公衆浴場水質基準項目を 504 件実施しました。

事業区分			平成 28 年度			平成 27 年度		
			実施件数	不適件数	%	実施件数	不適件数	%
簡易専用水道検査等	簡易専用水道検査	現場検査	1,355	8	0.59	1,375	14	1.02
		書類検査	144	0	0.00	146	0	0.00
	一般水質検査	レジオネラ属菌検査等	386	23	5.96	412	41	9.95
		その他	118	0	0.00	134	0	0.00

2 健診・検査等結果に基づく調査・研究事業

県民の疾病予防、生活環境の保全、健康の保持増進及び県内における検診技術や学術水準の向上を図るため、健診・検査等で得られたデータの集統計及び解析やがん検診受診者の精密検査受診状況の追跡調査を行い、その結果及び検診手法などに関して得られた成果を学会に発表するほか、事業年報等にまとめて市町や事業所などの受診団体等に対して提供することにより、疾病予防対策及び県民の健康管理の基礎資料としての活用を促進しました。

また、県民向けの健康情報等の発信を定期情報誌やホームページを活用して実施するとともに、当該成果等を活用して各種の普及啓発事業を実施しました。

(1) 発見がん追跡調査の実施

平成 27 年度に集団健診や人間ドックを受け精密検査が必要になった受診者のうち、市町や医療機関から提出された精密検査結果連絡票にがん又はがんの疑いと記載のある症例について、発見がん追跡調査を実施しました。がん毎に作成した調査票を各精密検査実施医療機関宛に 1,134 枚送付し、回収数は 1,088 枚、回収率は 95.9%でした。

この追跡調査の結果は、調査協力医療機関に報告しました。

また、精密検査未受診者には受診勧奨を行うなど、精密検査受診率の向上にも努めました。

(2) 「がん教育」実施に向けての検討

文部科学省においては、平成 27、28 年度においてモデル校を中心に今後の課題を検討し、その成果を踏まえた「がん教育」について平成 29 年度以降に全国展開することを目指すとしており、平成 28 年 4 月には「外部講師を用いたがん教育ガイドライン」が示されたところです。

当事業団では、平成 27 年度に続き「がん教育」の実施に向けての情報収集を行うとともに、がん教育に関する視聴覚資料等の収集を行いました。今後も、県・市町・学校・関係団体等の動向を注視しながら、連携を図り、それらに必要な手法や教材、取り組みについての調査研究を推進します。

(3) 診断結果等の提供

健診・検査等で得られたデータ及びデータを統計的に分析したものを、受診団体及び調査・研究機関等に提供しました。

ア 受診団体への提供

受診団体における健康づくり事業を促進するため、有所見率や生活習慣の変化などについて、健康診断から得られたデータと当事業団及び全国関係団体の最新のデータを公益財団法人予防医学事業中央会の「地域職域診断サービス」を活用することにより、受診団体ごとの特性を統計的に分析し、解析結果を受診団体に提供するとともに、保健師などの専門スタッフによる分析結果説明及び受診団体が実施する健康づくり支援の指標となるような助言を行いました。

・地域職域診断サービス：26 団体実施（14 市町、12 事業所）

イ 事業年報作成及び配布

健診・検査等で得られたデータの集統計や解析、がん追跡調査の結果等をまとめた当事業団発足以来発行している事業年報（第 40 号）を 730 部作成し、県民の疾病予防及び健康増進のための基礎資料や、地域・職域において実施される保健事業の計画及び市町が定める健康増進計画策定等の参考にできるよう、県、市町、受診団体、医療機関、大学などの関係機関に配付したほか、ホームページでも公開してより多くの方が利用できるようにしました。

ウ 各種学会研修会等での公表

研究の成果を広く県内関係団体や全国的な研究機関等における疾病の予防、生活環境の保全、健康増進のための基礎資料として活用の促進に繋げるため、事業の成果を次のとおり各種学会に発表し、公表しました。

学会名（開催日・開催場所）	演 題
第 54 回栃木県公衆衛生学会 ・平成 28 年 8 月 31 日 ・宇都宮市	1 健診受診者における特性の把握 ～「地域職域診断サービス報告書」の充実を目指して～
	2 栃木県がん集検協議会精度管理部会における発見がん追跡調査実施報告
	3 近年の胃がん発見率変動について
	4 発見前立腺がんの Gleason スコアを加味したリスク評価について
	5 大腸がん検診精検率変動の要因と影響についての考察
	6 当施設における超音波併用乳がん検診の成績
	7 簡易専用水道検査における過去 10 年間の行政報告施設の検証について
第 75 回日本公衆衛生学会 ・平成 28 年 10 月 26 日～28 日 ・大阪府大阪市	1 健診受診者における特性の把握 ～「地域職域診断サービス報告書」の充実を目指して～
	2 栃木県がん集検協議会精度管理部会における発見がん追跡調査実施報告
第 51 回予防医学技術研究会議 ・平成 29 年 2 月 23 日～24 日 ・広島県広島市	1 胸部検診におけるアナログとデジタルの比較・検討
	2 液状化細胞診（LBC 法）/HPV-DNA 併用子宮頸がん検診の実施状況報告
	3 胃がんリスク検診の陰性高値群における PG 値および胃 X 線検査の背景胃粘膜に関する検討
	4 住民健診における心房細動の出現頻度と発症因子
	5 健診受診者における特性の把握 －「地域職域診断サービス報告書」の充実を目指して－
	6 予防医学事業における食品環境検査の現状と今後の取組みについて

3 精度管理の充実

事業団施設で行われている各部門の検体検査について、日常的なデータの精度が一定基準の範囲内にあるかを得られたデータをもとに統計学的手法を用いて解析評価を行いました。また、既知試料（標準物質）などを使用して日々の検査精度（精密度や正確度）を確認し、精度管理の徹底に努めました。

さらに精度管理を徹底するため、次に示す第三者機関が実施する精度管理調査に参加し、客観的評価を受けて検査精度を確認し、精度管理の徹底を図りました。

区 分	精 度 管 理 名	実 施 団 体 名
結 核 検 診	フィルム評価会	公益財団法人結核予防会
	胸部エックス線検査に関する 精度管理調査	公益社団法人全国労働衛生団体連合会
胃 が ん 検 診	胃 X 線写真評価	公益財団法人日本対がん協会 公益財団法人結核予防会
肺 が ん 検 診 子 宮 が ん 検 診 (細 胞 診)	日臨技臨床検査精度管理調査	一般社団法人日本臨床衛生検査技師会
	日本臨床細胞学会 コントロールサーベイ	公益財団法人日本臨床細胞学会

区 分	精 度 管 理 名	実 施 団 体 名
乳 がん 検 診	マンモグラフィ施設画像評価	特定非営利活動法人日本乳がん検診 精度管理中央機構
健 康 診 断 特 殊 健 康 診 断 生 化 学 検 査 特 定 健 康 診 査	日本医師会臨床検査精度管理調査	公益社団法人日本医師会
	栃木県臨床検査精度管理調査	栃木県臨床検査精度管理委員会
	全衛連臨床検査精度管理調査	公益社団法人全国労働衛生団体連合会
	予防医学事業中央会精度管理調査 健診・検査データ共有化事業	公益財団法人予防医学事業中央会
	労働衛生検査（鉛・有機溶剤に係わる生物 学的モニタリング検査）精度管理調査	公益社団法人全国労働衛生団体連合会
腹 部 超 音 波 検 査	腹部超音波検査精度管理調査	公益社団法人全国労働衛生団体連合会
先 天 性 代 謝 異 常 検 査	先天性代謝異常症等 マス・スクリーニング精度管理	NPO法人タンデムマス・スクリーニ ング普及協会
食 品 検 査	食品衛生精度管理比較調査	一般財団法人食品薬品安全センター
放 射 能 検 査	放射性物質測定技能試験	一般財団法人日本冷凍食品検査協会
簡 易 専 用 水 道 検 査	簡易専用水道検査外部精度管理調査	厚生労働省 一般社団法人全国給水衛生検査協会

4 優良施設認定等の維持

当事業団は、次に示す全国的評価機関の行う各種認定を受け、人材の育成、機器の管理、システムの充実に努めました。

区 分	認 定 等 の 名 称	認 定 団 体
乳 がん 検 診	マンモグラフィ検診施設画像認定	特定非営利活動法人日本乳がん検診 精度管理中央機構
特 定 健 康 診 査 健 康 診 断	労働衛生サービス機能評価認定機関	労働衛生サービス機能評価機構
	健診検査データ共有化事業認証施設	公益財団法人予防医学事業中央会
細 胞 診	日本臨床細胞学会認定施設	公益社団法人日本臨床細胞学会
人 間 ド ッ ク	人間ドック健診施設機能評価 認定施設	一般社団法人日本病院会 公益社団法人日本人間ドック学会
簡 易 専 用 水 道 検 査	水道法第 34 条登録検査機関 (登録番号第 41 号)	厚生労働省

5 学術委員による指導

健診・検査の精度の向上や効果の高い事業を実施するため、自治医科大学・獨協医科大学・国際医療福祉大学病院などの公衆衛生をはじめとした各部門の専門医である 18 名の学術委員より指導を受け、検査システムの構築や改善並びに精度向上に努めました。

平成 29 年 3 月 31 日現在

学 術 員 氏 名	所 属
中 村 好 一	自治医科大学地域医療学センター 公衆衛生学部門教授
藤 原 寛 行	自治医科大学産科婦人科学講座教授
稲 葉 憲 之	獨協医科大学学長
平 田 幸 一	獨協医科大学医学部 神経内科主任教授
妹 尾 正	獨協医科大学医学部大学院 眼科学教授
平 石 秀 幸	獨協医科大学病院長 消化器内科 教授
深 澤 一 雄	獨協医科大学医学部大学院 産科婦人科学講座主任教授
石 川 勉	獨協医科大学放射線部教授
有 阪 治	獨協医科大学医学部小児科学講座教授 とちぎ子ども医療センター長
小 橋 元	獨協医科大学医学部 公衆衛生学講座教授
加 藤 広 行	獨協医科大学医学部第一外科学教授
難 波 美津雄	佐野医師会病院外科部長
内 田 克 紀	国際医療福祉大学病院教授 腎泌尿器外科部長
石 川 成 美	国際医療福祉大学病院教授 呼吸器センター長 呼吸器外科部長
柴 信 行	国際医療福祉大学病院副院長 循環器センター長 循環器内科部長
夏 秋 知 英	国立大学法人宇都宮大学農学部長
鈴 木 光 明	新百合ヶ丘総合病院がんセンターセンター長 自治医科大学名誉教授
安 藤 二 郎	地方独立行政法人栃木県立がんセンター 乳腺外科科長兼超音波センター長

6 健診・検査による新たな手法の取組み

行政や医師会、大学病院等と連携し、より精度の高い効果的な手法による健診・検査を実施して、新たな手法の検証や精度管理の向上に係る研究等を積極的に行いました。

検 診 名	実 施 団 体
(1)子宮頸がん HPV-DNA 併用検診	平成 24 年度から継続：小山市・下野市・野木町(20 歳以上) 平成 25 年度から継続：茂木町(30 歳以上)・那須塩原市(30 歳代)・ 那須烏山市・足利市(30・35・40 歳) 平成 27 年度から継続：芳賀町(20 歳以上)
(2)胃がんハイリスク検診 (ABC 検診)	平成 23 年度から継続：大田原市 平成 25 年度から継続：下野市 平成 26 年度から継続：那須塩原市・矢板市・塩谷町・栃木市 小山市・野木町 平成 27 年度から継続：鹿沼市

7 健診・検査等の質の向上のための連携体制の構築

行政や他の検診機関、関係機関等と連携した協議会等の主催や研修会の開催及び全国の関係機関との情報交換の実施等の各種取り組みを展開し、県民の健康の保持増進や県内の健診・検診等の質の向上を図りました。

(1) 栃木県がん集検協議会・がん集団検診従事者研修会の運営

県民に、より精度の高いがん検診を提供するため、がん検診の有効な実施手法の検討及びがん検診従事者の資質向上等を目的として、県内の保健所、市町、医師会及び大学病院や検診機関などの医療関係機関などを構成員とした栃木県がん集検協議会を栃木県立がんセンターと協力して運営し、次に示す研修会等を開催しました。

研修会等名称	開催日	開催場所
前立腺がん検診部会	平成28年7月27日	とちぎ健康の森
精度管理部会	平成28年8月4日	とちぎ健康の森
乳がん検診症例検討会	平成28年8月7日	とちぎ健康の森
細胞診従事者研修会(子宮がん)	平成28年10月1日	自治医科大学
前立腺がん検診従事者研修会	平成28年10月19日	とちぎがんセンター
細胞診従事者研修会(子宮がん)	平成29年2月4日	国際医療福祉大学病院
乳がん検診症例検討会	平成29年2月7日	とちぎ健康の森
胃がん検診従事者研修会	平成29年2月15日	とちぎ健康の森
肺がん検診従事者研修会	平成29年3月1日	とちぎ健康の森
大腸がん検診従事者研修会	平成29年3月9日	とちぎ健康の森
前立腺がん検診部会	平成29年3月15日	とちぎ健康の森
精度管理部会	平成29年3月16日	とちぎ健康の森

(2) 栃木県集団検診実施機関連絡協議会の運営

県内における集団検診の向上発展を図ることを目的として、栃木県集団検診実施機関連絡協議会の事務局を運営し、連絡会議等を開催しました。

(3) 専門医師、技術者の講師派遣等

当事業団が有する検診技術等を広く普及させ、県民の健康保持・増進に繋げていくため、公益財団法人結核予防会や公益財団法人日本対がん協会、特定非営利活動法人日本乳がん検診精度管理中央機構が行う各種講習会等、県内外の各種研修会に主催団体からの依頼に応じて医師や保健師、診療放射線技師等を講師として派遣しました。主な派遣先は次のとおりです。

研修会等名称	講師派遣
公益財団法人日本対がん協会・公益財団法人結核予防会共催 平成28年度診療放射線技師研修会	放射線技師
NPO法人日本乳がん検診精度管理中央機構 第11回超音波検査従事者のためのマンモグラフィ読影講習会	医師
NPO法人日本乳がん検診精度管理中央機構 第52回デジタルマンモグラフィ講習会	医師
NPO法人日本乳がん検診精度管理中央機構 第36回マンモグラフィ読影講習会	医師
NPO法人日本乳がん検診精度管理中央機構 第14回マンモグラフィ指導者研修会	医師
NPO法人日本乳がん検診精度管理中央機構 第17回千葉県マンモグラフィ読影講習会	医師
第34回結核予防会マンモグラフィ講習会	医師、放射線技師
各労働基準協会 有機溶剤作業主任者技能講習	医師
各労働基準協会主催 安全衛生週間説明会	医師
公益財団法人予防医学事業中央会主催 共有化専門委員会	臨床検査技師

研修会等名称	講師派遣
栃木産業保健総合支援センター主催 産業保健セミナー等	医師
公益財団法人日本対がん協会・公益財団法人結核予防会・NPO 法人日本乳がん検診精度管理中央機構共催 第7回乳房超音波技術講習会	医師、臨床検査技師
特定非営利活動法人栃木県ウォーキング協会 講演テーマ「かしこく食べて健康長寿」	保健師
栃木産業保健総合支援センター主催 認定産業医研修会	医師
獨協医科大学医学部公衆衛生学講座 公衆衛生学実習	医師、保健師
栃木県衛生福祉大学校 公衆衛生看護学実習	保健師
那須塩原市保健福祉部健康増進課 講演テーマ「乳がんを知ろう～自分のため、家族のため～」	医師
NPO 法人日本乳がん検診精度管理中央機構 第40回マンモグラフィ更新講習会	医師
NPO 法人日本乳がん検診精度管理中央機構 マンモグラフィ読影講習会教材整備検討会	医師
特定非営利活動法人日本乳癌検診学会 講演テーマ「乳がん検診の利益・不利益と総合判定」	医師
栃木県内科医会、栃木県呼吸器疾患研究会 平成28年度栃木県内科医会日産産業医研修会 講演テーマ「化学物質による健康障害の防止対策」	医師

(4) 研究会・研修会及び会議等への参加及び情報交換

公益財団法人結核予防会、公益財団法人日本対がん協会、公益財団法人予防医学事業中央会等が開催する各全国大会やブロック会議及び担当者会議などに参加し、全国の各種予防医学活動の動向を把握するほか、技術研修や全国の関係団体間での精度管理、血液検査データの共有化などを図り、県民に対して、より精度の高い健診・検査を提供できるよう努めました。

(5) 県が実施する各種検討会への参画

栃木県などが県民の健康保持・増進やがんなどの生活習慣病対策のために設立している各協議会等に委員として参画しました。

なお、主な協議会等への参加状況は次のとおりです。

委員会名	委員会における役職	開催日	出席者
栃木県がん集検協議会	副会長	平成28年 6月 9日 平成28年 7月 6日	理事長
栃木県公衆衛生協会	副会長	平成28年 6月 29日 平成29年 2月 7日	理事長
とちぎ健康21プラン推進協議会	委員	平成29年 3月 22日	理事長
健康長寿とちぎづくり推進県民会議 幹事会	幹事	平成29年 3月 22日	理事長
栃木県生活習慣病検診等管理指導協議会 がん検診委員会	委員	平成29年 2月 9日	医療局長
栃木産業保健総合支援センター運営協議会	委員	平成28年 12月 13日	理事長
栃木県医療費適正化計画協議会	委員	平成29年 2月 2日	医療局長
栃木県がん総合対策検討会	委員	平成29年 3月 8日	理事長
栃木県がん登録等審議会	委員	平成29年 3月 8日	乳がん検診部長

8 会議等の開催

(1) 理事会・評議員会

平成28年度の理事会・評議員会を次のとおり開催しました。

会議名	開催月日	主たる審議内容
第9回評議員会	平成28年6月21日	1 平成27年度事業報告の承認について 2 平成27年度決算報告の承認について
第10回評議員会	平成29年3月22日 (全員同意による みなし決議)	1 理事の選任について 2 役員及び評議員の報酬等並びに費用に関する規程の一部改正について
第16回理事会	平成28年4月1日 (全員同意による みなし決議)	1 理事長の選定について 2 評議員選定委員会委員の選任について 3 理事の報酬額について
第17回理事会	平成28年6月2日	1 平成27年度事業報告について 2 平成27年度決算報告について 3 評議員会の開催について 4 評議員選定委員会委員の選任について 5 業務執行状況の報告
第18回理事会	平成28年7月4日 (全員同意による みなし決議)	1 評議員候補者の推薦について
第19回理事会	平成28年8月19日 (全員同意による みなし決議)	1 評議員選定委員会委員の選任について
第20回理事会	平成29年3月15日	1 平成28年度補正予算について 2 平成29年度事業計画について 3 平成29年度予算について 4 評議員会提案議案について 5 業務執行状況の報告
第21回理事会	平成29年3月23日 (全員同意による みなし決議)	1 常勤役員の期末手当の額について

(2) 評議員選定委員会

平成28年度の評議員選定委員会を次のとおり開催しました。

会議名	開催月日	主たる審議内容
第5回評議員選定委員会	平成28年7月14日	1 評議員の選任について

(3) その他の会議

その他の会議を次の通り開催しました。

会 議 名	開 催 月 日	主 たる 審 議 内 容
平成 28 年度 集団健診実施機関 連絡協議会	平成 28 年 8 月 29 日	1 議題 (1) 役員の選任 (2) 平成 27 年度事業報告および収支決算 (3) 平成 28 年度事業計画および収支予算 2 意見交換 (1) 会員機関の追加 (2) がん検診実施のための指針の一部改正と影響 (3) 健診現場におけるトラブルと対応 (4) 人間ドックについて
平成 28 年度 住民健診担当者意見 交換会	平成 29 年 3 月 2 日	1 意見交換 (1) 平成 27 年度がん検診精密検査受診率向上支援 モデル事業結果報告 (2) 検診・検査の変更点 (3) 乳がん検診における判定方法変更と高濃度乳腺 について 2 講演 「がん検診受診率向上施策紹介」 講師：株式会社キャンサーキャン 代表取締役 福吉 潤 様
平成 28 年度 第 2 回栃木産業保健 セミナー	平成 29 年 3 月 23 日	1 事業報告 ストレスチェックの結果について 2 講演 「ストレスチェック、そのあと。－どう考える？ どう活かす？－」 講師：株式会社ブリヂストン 栃木健康管理センター所長 楡木 恵美子 様

9 安全管理体制の充実

(1) 個人情報保護マネジメントシステム（プライバシーマーク）の推進

当事業団の取り扱う多くの機微な個人情報の管理の重要性を踏まえ、平成 17 年度に県内医療機関として最初に認定を受けた個人情報保護マネジメントシステム（プライバシーマーク）を個人情報保護法の改正（平成 27 年 9 月公布、平成 29 年 5 月全面施行）に伴い、見直しや充実を図りました。

(2) リスク管理システムの推進

安全かつ適切な業務の管理・推進のために設置しているリスク管理委員会において、インシデント事例の収集やアクシデント防止の対策等について審議し、職員教育に取り組むなど組織全体で情報の共有を行ったことや機密漏洩の保護を目的として、読影室やフィルム保管庫等に「入退室管理システム」を導入し、リスク管理体制を強化し安全性の向上に努めました。

10 機器の整備

健診・検査精度の向上や効率化を図るため、次のとおり機器、電算システム及び車両等を整備しました。

(1) 検査等機器

(取得価格 1,000,000 円以上)

No.	機器等名	型式・規格	数量	用途
1	超音波診断装置	東芝 Viamo SSA-640A J1	5	乳がん検診
2	超音波骨密度装置	日立製作所 A0S-100SA	1	骨密度検診
3	プレパラート自動封入器	白井松器 RCM9000 型	1	胸部検診 子宮がん検診 人間ドック
4	無散瞳デジタル眼底カメラ	Canon CR-2 AF	6	特定健診 健康診断
5	解析付心電計	フクダ電子 FCP-8800	2	特定健診 健康診断
6	心電心音図解析装置	フクダ電子 ECP-7641	2	心臓検診
7	フルオート非接触眼圧計	Canon TX-20P	1	人間ドック
8	ケルダール蒸留器	ビュッヒ k-360 滴定装置付き	1	食品検査
9	原子吸光度計	ローラン ZA3000 形偏光ゼーマン	1	食品検査

(2) 電算システム(ハードウェア・ソフトウェア)

No.	システム名	システム内容等	数量	開発委託先
1	グループウェアシステム	グループウェアシステム (ハードウェア・ソフトウェア)	1	コムコ(株)
2	入退出情報システム	入退出情報システム (ハードウェア・ソフトウェア)	1	アマノ(株)
3	人間ドックシステム	人間ドックシステム (ハードウェア・ソフトウェア)	1	横河医療ソリューションズ(株)
4	乳腺超音波レポートシステム	乳腺超音波レポートシステム (ハードウェア・ソフトウェア)	1	(株)スリーゼット
5	眼底画像管理システム	眼底画像管理システム (ハードウェア・ソフトウェア)	1	(株)スリーゼット
6	健診システム	住民健診用機能追加 (ソフトウェア)	1	(株)TKC
7	健診システム	事業所健診用機能追加 (ソフトウェア)	1	(株)TKC
8	健診システム	事業所健診用機能追加 (ソフトウェア)	1	(株)KCS
9	技師用端末	スリーゼット EIZO RadiForce GX340 (ハードウェア)	1	(株)スリーゼット
10	読影用端末	スリーゼット EIZO RadiForce GX540 (ハードウェア)	1	(株)スリーゼット
11	レポートシステム	レポートシステム追加機能 (ソフトウェア)	1	(株)スリーゼット
12	人間ドックシステム	人間ドックシステム機能追加 (ソフトウェア)	1	横河医療ソリューションズ(株)

(3) 車両

No.	車両名	型式・規格	数量	用途
1	胸部検診車	三菱 TKG-FK65FY 改 日立 RADNEXT CS	2	胸部検診
2	胃検診車	日野 QPG-FQ1EWEJ 日立 ClavisMobileESPACIO	1	胃検診
3	健診スタッフ車	日産 ADバン	1	腸内細菌
4	健診スタッフ車	日産 キャラバン DX	3	特定健診
5	健診スタッフ車	日産 セレナ X	1	心臓検診